

記者発表資料  
令和3年8月4日  
宮城県多賀城高等学校  
担当：災害科学科長 東館拓也  
電話：022-366-1225

# 多賀城高等学校 災害科学科 JR東日本 宮城野運輸区における 津波避難に対する意見交換会

本校災害科学科生徒が、東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）宮城野運輸区の協力により、電車乗車時に地震・大津波警報が発令された場合の避難方法についての意見交換会を行います。実際の鉄道の避難訓練をもとに、災害を学ぶ高校生の視点で課題を見だし、職員の方とより多くの命を守る避難方法の提案を目指します。

## 記

- 日時 令和3年8月10日（火）13:30～17:00
- 場所 東日本旅客鉄道株式会社 宮城野運輸区内
- 講師 東日本旅客鉄道株式会社 運転指導助役 関和信氏
- 参加者 多賀城高等学校 災害科学科 第1, 2学年 生徒10名
- 内容 (1) 大津波警報が発令された場合の避難法（現車避難訓練）  
(2) 乗務員と乗客が一体となった避難法を考える  
(3) 宮城野運輸区の業務紹介
- 問い合わせ 宮城県多賀城高等学校 022-366-1225（担当 東館）

10年前の東日本大震災の教訓を胸に、これからの防災・減災・復興を担う高校生が、JR東日本宮城野運輸区の職員の方とともに、大津波警報を想定した避難法の開発に挑みます。震災から10年が経過した今こそ、より多くの人にそういった取組を伝え、考えてもらうきっかけになればと思います。